

準高冷地に適する 高品質な「オーロラブラック」生産技術



大粒で着色の優れる
「オーロラブラック」

準高冷地で簡易被覆栽培した
「オーロラブラック」の果実品質

	ホルモン 1回処理	ホルモン 2回処理
果房重(g)	639	701
果粒重(g)	21.9	23.6
果皮色(C.C.値)	9.8	9.4
糖度(度)	17.3	17.9

開発のねらい

岡山県が育成したブドウ「オーロラブラック」の生産拡大を図るため、準高冷地（真庭市蒜山）での高品質な果実を生産する栽培方法を明らかにしました。

新技術の概要

- ▶ 準高冷地で簡易被覆栽培した「オーロラブラック」は、10月頃に収穫できます。
- ▶ 無核肥大処理（ホルモン処理）は、①満開期にフルメット2～5ppmを加用したジベレリン25ppm、②満開10～14日後にジベレリン25ppmの2回処理で、大粒で着色の良い果実を生産できます。
- ▶ ジベレリンを2回処理した果実は、果肉が硬く、脱粒しにくいいため、日持ち性がよくなります。

活用場面

県中南部の収穫（8～9月）に引き続いて高品質な果実が長期リレー出荷でき、県のブランド力強化に役立ちます。